

はじめまして。横浜市の看護学校を卒業後、横浜市内の病院に勤務し、今年度地元であるむつ市へ戻ってきました。不安いっぱいの中、入職しましたが、むつ総合病院では、新人看護師だけではなく既卒者への教育体制も充実しています。既卒者へもプリセプターを付けていただいて、不安は解消されました。また、病棟スタッフの方が全員でサポートしてくれるため、恵まれた環境で毎日楽しく仕事をしています。

私が所属する5階北病棟は、脳神経外科と耳鼻咽喉科の混合病棟です。脳神経外科の主な疾患は、脳梗塞や脳出血、くも膜下出血などの脳血管障害です。意識がはっきりしていない、寝たきりの重症患者さんも多く、毎日が勉強です。急変するケースも多いため、モニター管理・観察をしっかり行わなくてはなりません。ほとんどが緊急入院で、CTやMRIなど検査も多いです。脳神経外科は発病後もしくは手術後の急性期からリハビリ期まで様々な段階の患者さんがいます。麻痺により日常生活の援助を必要としている患者さんも多いです。脳出血などで突然手足が不自由になり、今まで出来ていたことが出来なくなってしまった患者さんが色々な壁にぶち当たりながらも一生懸命に努力を続けて回復していく姿は刺激になります。寝たきりで意識がなかった患者さんがリハビリを試みるうちに回復していく姿は近くで関わる看護師にとって嬉しいものでもあり、やりがいを感じます。



毎週木曜日には、リハビリカンファレンスが行われています。医師・看護師・理学療法士・作業療法士・言語聴覚士・医療ソーシャルワーカーが集まり、情報交換をします。患者さんが残存機能を使ってどのようにすれば自立した日常生活を送れるようになるのか、退院後の生活を踏まえて話し合いを行います。看護していく上で、他職種との連携は重要です。また、すべて看護師が援助するのではなく、患者さんの自立へ向けた関わりが重要だと日々感じています。

また、5階北病棟では新看護方式 PNS（パートナーナーシングシステム）を実践しています。2人の看護師がペアとなり、相互に協力しあい、報告・連絡・相談しながら毎日の看護ケアを行います。PNSのメリットは、一緒に業務を行うペアの先輩にアドバイスをもらいながら、日々業務が行えます。不安なことを一人で抱えることなく、先輩看護師にすぐ報告・連絡・相談できます。先輩看護師と一緒に重症患者さんを受け持つことで先輩の技術を学ぶことができ、勉強になります。



看護は日々勉強です。“患者さんの笑顔を引き出せる看護師”が私のモットーです。今後も勉強会等に積極的に参加し、幅広い知識を身につけ、スキルアップしていきたいです。閲覧ありがとうございました。